



# 低炭素社会づくりに向けた環境的に持続可能な交通(EST)のアプローチ ～対策効果算出法と温暖化対策先進都市に学ぶ～

低炭素社会の実現に向けた運輸部門のアプローチとして、環境的に持続可能な交通(EST)の取り組みが期待されています。OECDでは、1995年にESTプロジェクトを開始し、ケーススタディの実施、分析、ESTガイドラインの作成、ベストプラクティスコンペ等の活動が進められています。日本においても、2005年度から「ESTモデル事業」が開始され、27地域が環境改善目標を掲げ、事業を進めています。

このような背景のもと、交通工学研究会の自主研究の一つであります「都市交通における環境的に持続可能な交通(EST)の普及方策にかかわる研究」グループ(代表/山本俊行 名古屋大学 准教授)では、研究成果を取りまとめ「地球温暖化防止に向けた都市交通」を本年6月に出版いたしました。

本講習会では、この新刊本をテキストに、交通まちづくりからの低炭素型社会に資する我が国でのESTの普及促進に向けて、ESTの原則的な考え方から、ESTを推進する組織づくりや支援策、ESTによる目標設定や効果計測方法まで、欧州および我が国でのモデル事業等の事例紹介も交えながらの実務的な講義を展開します。多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

**開催日：**平成21年10月2日(金) 希望者のみ前日午後にはオプション見学会を実施します(下記参照)。

**会場：**建設交流館 グリーンホール 大阪市西区立売堀 2-1-2 (06)6543-2551

**募集人員：**講習会 250名 オプション見学会 30名 (どちらも定員になり次第締め切らせていただきます)

**参加費：**会員 8,000円、一般 10,500円、学生会員 4,000円 (受講料、テキスト(新刊本)代、消費税含む)

**参加申込方法：**裏面の申込書にご記入の上、当会宛にファックスまたは郵送願います。

**プログラム**

(講習タイトルおよび講師は若干の変更がある場合もございますのでご了承願います)

<p><b>1. 低炭素社会づくりに向けた環境的に持続可能な交通(EST)のアプローチ</b> 交通工学研究会での環境的に持続可能な交通(EST)に関する取り組みと研究成果である出版物について紹介し、本講習会の構成を説明する。</p>	<p><b>山本 俊行</b> (名古屋大学 大学院)</p>	<p>10:00 ~ 10:20</p>
<p><b>2. 国土交通省における都市と交通からの地球温暖化対策</b> 国土交通省における都市や交通を対象とした地球温暖化対策について各局より支援事業の例なども示しながら解説する。 <b>2-1 我が国における環境的に持続可能な交通(EST)への取り組み</b> <b>2-2 総合交通戦略を活用した地球温暖化対策</b> <b>2-3 道路事業による地球温暖化対策</b></p>	<p><b>国土交通省</b> (総合政策局 環境政策課) <b>吉田 信博</b> (都市・地域整備局 街路交通施設課) <b>志々田 武幸</b> (道路局 地方道・環境課)</p>	<p>10:25 ~ 11:25</p>
<p><b>3. 交通円滑化策による車からの環境負荷削減策</b> 新交通管理システム(UTMS)等の ITS 技術による「安全・快適にして環境にやさしい交通社会」の実現に向けた警察の取り組みについて解説する。</p>	<p><b>角田 正文</b> (警察庁 交通局 交通規制課)</p>	<p>11:30 ~ 12:00</p>
<p><b>4. 環境省における国内外の EST の取り組み</b> 国内における EST モデル事業などへの支援 アジアにおける EST の推進など、環境省における取り組みについて解説する。</p>	<p><b>清水 将之</b> (環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課)</p>	<p>13:00 ~ 13:20</p>
<p><b>5. 関係主体の連携による EST の効果的な実現のために</b> 先進地域である欧州での取り組みを例に、関係主体の役割と連携など、EST を効果的に実現するための考え方について解説する。</p>	<p><b>倉内 慎也</b> (愛媛大学 大学院)</p>	<p>13:20 ~ 14:10</p>
<p><b>6. 事例都市に学ぶ施策の実施と効果計測</b> 国内外の事例から今後の参考にすべき特徴的な事例を取り上げ、その施策について解説するとともに、効果の計測方法を試算例とともに解説する。</p>	<p><b>矢部 努</b> (財)計量計画研究所)</p>	<p>14:20 ~ 15:00</p>
<p><b>7. 自動車技術、交通対策からみた EST 方策</b> ハイブリッドや電気自動車などの次世代車の早期普及も含めた燃費向上と、様々な交通対策やエコドライブによる自動車からの二酸化炭素排出削減について解説する。</p>	<p><b>大野 栄嗣</b> (社)日本自動車工業会)</p>	<p>15:10 ~ 15:50</p>
<p><b>8. EST の実現に向けて</b> 我が国のこれまでの取り組みの成果と課題を総括し、真に持続可能な交通の実現のための政策のあり方について議論する。</p>	<p><b>中村 文彦</b> (横浜国立大学 大学院)</p>	<p>16:00 ~ 17:00</p>

**オプション見学会：**10月1日(木) 15時～17時 (定員:先着30名(原則として1社より2名まで)。要事前申込、追加費用無し) 午後3時 明石市生涯学習センター学習室3(明石駅の南東にあるアスピア明石北館) 集合、午後5時頃 明石駅解散予定。  
見学内容：都心循環バス(ちよいのりバス)、都市情報提供システム「あかしびじょん。」他(詳細は後日参加者へ通知します。)

**主催：**社団法人交通工学研究会 050-5507-7153 Fax (03)6410-8718 <http://www.jste.or.jp/>

**後援：**警察庁・国土交通省・環境省



(社)交通工学研究会 行 Fax No. 03 - 6410 - 8718

# 参加申込書

< 第84回交通工学講習会(大阪) >  
**低炭素社会に向けた環境的に持続可能な  
交通(EST)のアプローチ**

<b>勤務先名称</b>	
<b>勤務先所在地</b>	〒 - 都府 道県
<b>おとりまとめ担当者 (書類等の送付先)</b>	〈氏 名〉  〈所属部課名〉 <span style="float: right;">(電話番号)</span>

参加者氏名 (フリガナ)	所属部課名	見学会 参加希望	会員区分( で囲んで下さい)	会員番号
		有・無	特別会員・正会員・学生会員・一般	
		有・無	特別会員・正会員・学生会員・一般	
		有・無	特別会員・正会員・学生会員・一般	
		有・無	特別会員・正会員・学生会員・一般	
		有・無	特別会員・正会員・学生会員・一般	

\* ご記入いただきました個人情報は、本講習会の参加受付にのみ利用させていただきます。

## 参加費等支払いについて

<b>必要書類</b>	請求書( )部 見積書( )部 納品書( )部		
<b>請求書等の 宛名指定</b>	宛名無しの場合は 印を記入( 印のない場合は勤務先名称となります)	<b>今後当会からの 各種ご案内DMの希望</b>	ご希望の場合は 印を記入
<b>備考</b>	(請求書発行等に関する指定がございましたらご記入願います。)		

注)

折り返し当会より参加カードと請求書等をお送りいたしますので、お手元に到着後にお支払い願います。

お支払いは郵便振替または銀行振込でお願いいたします(どちらも振込手数料はご負担願います)。

当日のお支払いはご遠慮願います。

見学会につきましては、定員が先着順の30名のため、お断りする場合がございますので悪しからずご了承ください。

また、原則として1社2名まで、とさせていただきます。

また、見学会の集合場所等の詳細につきましては、書面で参加カードと共に郵送させていただきます。

お申込み後の取消しはご遠慮願います。やむを得ず参加者を変更することは差し支えありません。

申込書を郵送の場合は、下記宛にお送り願います。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3 - 23 錦町MKビル 5階 (社)交通工学研究会